

土木工事積算基準の 改定・追加・訂正

適用年月日（令和5年（2023年）10月1日以降積算基準日適用）

区分	ページ	改定	現行	備考																																																									
共通編 102 共通工 102-340 殻運搬 運用資料	共通-27	<p>2. 機械運転単価表</p> <p>ダンプトラック（2t積級）運転費（1日当り）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転手（一般）</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>ℓ</td> <td><u>23</u></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>供用日</td> <td>1. 17</td> </tr> <tr> <td>損 耗 費</td> <td>供用日</td> <td>1. 17</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	数 量	運転手（一般）	人	1	軽 油	ℓ	<u>23</u>	機 械 損 料	供用日	1. 17	損 耗 費	供用日	1. 17	<p>2. 機械運転単価表</p> <p>ダンプトラック（2t積級）運転費（1日当り）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転手（一般）</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>ℓ</td> <td><u>21</u></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>供用日</td> <td>1. 17</td> </tr> <tr> <td>損 耗 費</td> <td>供用日</td> <td>1. 17</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	数 量	運転手（一般）	人	1	軽 油	ℓ	<u>21</u>	機 械 損 料	供用日	1. 17	損 耗 費	供用日	1. 17	誤記の訂正																											
名 称	単 位	数 量																																																											
運転手（一般）	人	1																																																											
軽 油	ℓ	<u>23</u>																																																											
機 械 損 料	供用日	1. 17																																																											
損 耗 費	供用日	1. 17																																																											
名 称	単 位	数 量																																																											
運転手（一般）	人	1																																																											
軽 油	ℓ	<u>21</u>																																																											
機 械 損 料	供用日	1. 17																																																											
損 耗 費	供用日	1. 17																																																											
共通編 107 共通仮設費 107-010 運搬費 運用資料	共-5	<p>表1.1 貨物自動車による建設機械運搬中の損料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削機</td> <td>廃材積込装置付 切削幅2.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自走式破碎機</td> <td>クラッシャー寸法：開き450mm、幅925mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタビライザ</td> <td>踏床改良用 処理深さ0.6m、幅2.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタビライザ</td> <td>踏床改良用 処理深さ1.2m、幅2.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機</td> <td>普通鋼矢板用 圧入800kN</td> <td>II型～IV型 硬質地盤</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機</td> <td>広幅鋼矢板用 圧入800kN</td> <td>VI型・VII型・IIw型～IVw型 硬質地盤</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>超ロングアーム型 山積0.4m³</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	備 考	路面切削機	廃材積込装置付 切削幅2.0m		自走式破碎機	クラッシャー寸法：開き450mm、幅925mm		スタビライザ	踏床改良用 処理深さ0.6m、幅2.0m		スタビライザ	踏床改良用 処理深さ1.2m、幅2.0m		油圧式杭圧入引抜機	普通鋼矢板用 圧入800kN	II型～IV型 硬質地盤	油圧式杭圧入引抜機	広幅鋼矢板用 圧入800kN	VI型・VII型・IIw型～IVw型 硬質地盤	バックホウ	超ロングアーム型 山積0.4m ³		<p>表1.1 貨物自動車による建設機械運搬中の損料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削機</td> <td>廃材積込装置付 切削幅2.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自走式破碎機</td> <td>クラッシャー寸法：開き450mm、幅925mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタビライザ</td> <td>踏床改良用 処理深さ0.6m、幅2.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタビライザ</td> <td>踏床改良用 処理深さ1.2m、幅2.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機</td> <td>普通鋼矢板用 圧入100kN</td> <td>II型～IV型</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機</td> <td>普通鋼矢板用 圧入800kN</td> <td>II型～IV型 硬質地盤</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機</td> <td>広幅鋼矢板用 圧入981～1471kN</td> <td>VI型・VII型・IIw型～IVw型</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機</td> <td>広幅鋼矢板用 圧入800kN</td> <td>VI型・VII型・IIw型～IVw型 硬質地盤</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機</td> <td>ハット形鋼矢板用 圧入1000kN</td> <td>10H・25H型</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>超ロングアーム型 山積0.4m³</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	備 考	路面切削機	廃材積込装置付 切削幅2.0m		自走式破碎機	クラッシャー寸法：開き450mm、幅925mm		スタビライザ	踏床改良用 処理深さ0.6m、幅2.0m		スタビライザ	踏床改良用 処理深さ1.2m、幅2.0m		油圧式杭圧入引抜機	普通鋼矢板用 圧入100kN	II型～IV型	油圧式杭圧入引抜機	普通鋼矢板用 圧入800kN	II型～IV型 硬質地盤	油圧式杭圧入引抜機	広幅鋼矢板用 圧入981～1471kN	VI型・VII型・IIw型～IVw型	油圧式杭圧入引抜機	広幅鋼矢板用 圧入800kN	VI型・VII型・IIw型～IVw型 硬質地盤	油圧式杭圧入引抜機	ハット形鋼矢板用 圧入1000kN	10H・25H型	バックホウ	超ロングアーム型 山積0.4m ³		誤記の訂正
名 称	規 格	備 考																																																											
路面切削機	廃材積込装置付 切削幅2.0m																																																												
自走式破碎機	クラッシャー寸法：開き450mm、幅925mm																																																												
スタビライザ	踏床改良用 処理深さ0.6m、幅2.0m																																																												
スタビライザ	踏床改良用 処理深さ1.2m、幅2.0m																																																												
油圧式杭圧入引抜機	普通鋼矢板用 圧入800kN	II型～IV型 硬質地盤																																																											
油圧式杭圧入引抜機	広幅鋼矢板用 圧入800kN	VI型・VII型・IIw型～IVw型 硬質地盤																																																											
バックホウ	超ロングアーム型 山積0.4m ³																																																												
名 称	規 格	備 考																																																											
路面切削機	廃材積込装置付 切削幅2.0m																																																												
自走式破碎機	クラッシャー寸法：開き450mm、幅925mm																																																												
スタビライザ	踏床改良用 処理深さ0.6m、幅2.0m																																																												
スタビライザ	踏床改良用 処理深さ1.2m、幅2.0m																																																												
油圧式杭圧入引抜機	普通鋼矢板用 圧入100kN	II型～IV型																																																											
油圧式杭圧入引抜機	普通鋼矢板用 圧入800kN	II型～IV型 硬質地盤																																																											
油圧式杭圧入引抜機	広幅鋼矢板用 圧入981～1471kN	VI型・VII型・IIw型～IVw型																																																											
油圧式杭圧入引抜機	広幅鋼矢板用 圧入800kN	VI型・VII型・IIw型～IVw型 硬質地盤																																																											
油圧式杭圧入引抜機	ハット形鋼矢板用 圧入1000kN	10H・25H型																																																											
バックホウ	超ロングアーム型 山積0.4m ³																																																												

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現行	備考																																																		
共通編 1章 基本事項	共通-18	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種 (レベル2)</th> <th>種別 (レベル3)</th> <th>細別 (レベル4)</th> <th>規格 (レベル5)</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土工</td> <td></td> <td>掘削(砂防)(ICT)</td> <td>土質 障害の有無 施工数量</td> <td>m3</td> <td>100</td> <td>ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3</td> </tr> <tr> <td>土工</td> <td>(路体・路床)盛土工</td> <td>路体(築堤)盛土</td> <td>施工幅員</td> <td>m3</td> <td>100</td> <td>ただし1,000m3未満の場合は10m3</td> </tr> </tbody> </table>	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考	土工		掘削(砂防)(ICT)	土質 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3	土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3	他基準と整合																													
		工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考																																													
		土工		掘削(砂防)(ICT)	土質 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3																																													
		土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3																																													
		共通-19	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>共通の工種</td> <td>吹付工</td> <td>吹付(モルタル,コンクリート)</td> <td>セメント種類 吹付厚</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>法面施肥工</td> <td>法面施肥</td> <td>施工区分</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>植生工</td> <td>腐植酸種子散布</td> <td></td> <td>m2</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>補強土壁工</td> <td>補強土壁基礎</td> <td>コンクリート規格</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td></td> <td>帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁</td> <td>土質</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td></td> <td>ジオテキスタイル補強土壁</td> <td>壁面材の種類</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>軽量盛土工</td> <td>軽量盛土</td> <td></td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	共通の工種	吹付工	吹付(モルタル,コンクリート)	セメント種類 吹付厚	m2	1		共通の工種	法面施肥工	法面施肥	施工区分	m2	1		共通の工種	植生工	腐植酸種子散布		m2	10			共通の工種	補強土壁工	補強土壁基礎	コンクリート規格	m	1		共通の工種		帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁	土質	m2	1		共通の工種		ジオテキスタイル補強土壁	壁面材の種類	m2	1		共通の工種	軽量盛土工	軽量盛土		m3	1	
			共通の工種	吹付工	吹付(モルタル,コンクリート)	セメント種類 吹付厚	m2	1																																													
			共通の工種	法面施肥工	法面施肥	施工区分	m2	1																																													
			共通の工種	植生工	腐植酸種子散布		m2	10																																													
			共通の工種	補強土壁工	補強土壁基礎	コンクリート規格	m	1																																													
			共通の工種		帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁	土質	m2	1																																													
	共通の工種			ジオテキスタイル補強土壁	壁面材の種類	m2	1																																														
	共通の工種		軽量盛土工	軽量盛土		m3	1																																														
	共通-18		共通-19	改定																																																	
				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種 (レベル2)</th> <th>種別 (レベル3)</th> <th>細別 (レベル4)</th> <th>規格 (レベル5)</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土工</td> <td></td> <td>掘削(砂防)(ICT)</td> <td>土質 障害の有無 施工数量</td> <td>m3</td> <td>100</td> <td>ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3</td> </tr> <tr> <td style="color: red;">土工</td> <td></td> <td style="color: red;">河床等掘削(ICT)</td> <td></td> <td style="color: red;">m3</td> <td style="color: red;">100</td> <td style="color: red;">ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3</td> </tr> <tr> <td>土工</td> <td>(路体・路床)盛土工</td> <td>路体(築堤)盛土</td> <td>施工幅員</td> <td>m3</td> <td>100</td> <td>ただし1,000m3未満の場合は10m3</td> </tr> </tbody> </table>	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考	土工		掘削(砂防)(ICT)	土質 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3	土工		河床等掘削(ICT)		m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3	土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3																					
		工種 (レベル2)		種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考																																												
		土工			掘削(砂防)(ICT)	土質 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3																																												
		土工			河床等掘削(ICT)		m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3																																												
		土工		(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3																																												
		共通-19		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>共通の工種</td> <td>吹付工</td> <td>吹付(モルタル,コンクリート)</td> <td>セメント種類 吹付厚</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr style="background-color: #f0f0f0;"> <td>共通の工種</td> <td>植生工</td> <td>腐植酸種子散布</td> <td></td> <td>m2</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>補強土壁工</td> <td>補強土壁基礎</td> <td>コンクリート規格</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td></td> <td>帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁 ・ジオテキスタイル補強土壁</td> <td>土質</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td></td> <td>補強盛土</td> <td>壁面材の種類</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>軽量盛土工</td> <td>軽量盛土</td> <td></td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	共通の工種	吹付工	吹付(モルタル,コンクリート)	セメント種類 吹付厚	m2	1		共通の工種	植生工	腐植酸種子散布		m2	10		共通の工種	補強土壁工	補強土壁基礎	コンクリート規格	m	1		共通の工種		帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁 ・ジオテキスタイル補強土壁	土質	m2	1		共通の工種		補強盛土	壁面材の種類	m2	1		共通の工種	軽量盛土工	軽量盛土		m3	1								
				共通の工種	吹付工	吹付(モルタル,コンクリート)	セメント種類 吹付厚	m2	1																																												
共通の工種				植生工	腐植酸種子散布		m2	10																																													
共通の工種				補強土壁工	補強土壁基礎	コンクリート規格	m	1																																													
共通の工種			帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁 ・ジオテキスタイル補強土壁	土質	m2	1																																															
共通の工種			補強盛土	壁面材の種類	m2	1																																															
共通の工種	軽量盛土工	軽量盛土		m3	1																																																

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現行						備考	
共通編 1章 基本事項	共通-20 共通-21	石・ブロック積(張)		基礎砕石(基礎材)	基礎材規格(砕石の場合等) 敷厚	m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2	他基準 と整合
		石・ブロック積(張)		小口止コンクリート	コンクリート規格	m3	1		
		石・ブロック積(張)		養生費	養生工の種類	m3	1		
	共通-22	地盤改良工		ペーパードレーン	SCP杭径 材料規格 長さ(打設長)	本	1		
		地盤改良工	締固め改良工	サンドコンパクションバイル	径	本	1		
		改定							
	共通-20 共通-21	石・ブロック積(張)		基礎砕石(基礎材)	基礎材規格(砕石の場合等) 敷厚	m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2	
		石・ブロック積(張)		現場打小口止コンクリート	コンクリート規格	m3	1		
		石・ブロック積(張)		プレキャスト小口止ブロック	幅 高さ	m	0.1		
		石・ブロック積(張)		現場打横帯(隔壁)コンクリート	コンクリート規格	m3	1		
石・ブロック積(張)			プレキャスト横帯(隔壁)ブロック	幅 高さ	m	0.1			
石・ブロック積(張)			プレキャスト巻止ブロック	幅 高さ	m	0.1			
石・ブロック積(張)			養生費	養生工の種類	m3	1			
共通-22	地盤改良工		PVD(プレファブリケイ ティッドパーチカルドレーン)	SCP杭径 材料規格 長さ(打設長)	本	1			
	地盤改良工	締固め改良工	サンドコンパクションバイル	径	本	1			

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現 行						備 考	
共通編 1章 基本事項	共通-23	構造物撤去工		現場発生品運搬	発生材種類	回	1	他基準 と整合	
		構造物撤去工		コンクリート削孔		孔	1		
		構造物撤去工		車止めポスト撤去	車止めポスト規格 作業区分	本	1		
		構造物撤去工		遮光フェンス撤去		m	1		
		構造物撤去工		標識撤去		基	1		
	共通-24	仮設工	砂防仮締切工	土砂締切		(m3)	(1)		
		仮設工		土砂土のう締切		(m3)	(1)		
		仮設工		コンクリート締切		(m3)	(1)		
		仮設工	工事用道路工	敷砂利	材料規格 厚さ	(m2)	(1)		
		仮設工		工事用道路補修		式	1		
		仮設工		防寒養生		(m3)	(1)		
		仮設工		小規模構造物防寒養生		(箇所)	(1)		
	改 定								
	共通-23	構造物撤去工		現場発生品運搬	発生材種類	t	0.1		
		構造物撤去工		コンクリート削孔		孔	1		
		構造物撤去工		横断歩道橋側板(掘廻・目隠)撤去	取外し部材規格	m2	1		
		構造物撤去工		遮光フェンス撤去		m	1		
共通-24	仮設工	砂防仮締切工	土砂締切		(m3)	(1)			
	仮設工		大型土のう締切		(m3)	(1)			
	仮設工		コンクリート締切		(m3)	(1)			
	仮設工	工事用道路工	敷砂利	材料規格 厚さ	(m2)	(1)			
	仮設工		敷鉄板	鋼材規格・作業区分	m2	1			
	仮設工		工事用道路補修		式	1			
	仮設工		防寒養生		(m3)	(1)			
	仮設工		小規模構造物防寒養生		(m3)	(1)			
	仮設工	仮設階段工	仮設昇降用階段		(m)	(1)			

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現行	備考																																																																
共通編 1章 基本事項	共通-26	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">コンクリート構造物</td> <td style="width: 20%;">場所打擁壁工(構造物単位)</td> <td style="width: 20%;">逆T型擁壁</td> <td style="width: 20%;">本体コンクリート規格</td> <td style="width: 10%;">m3</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>コンクリート構造物</td> <td></td> <td>L型擁壁</td> <td>本体コンクリート規格</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>ガードケーブル</td> <td>ガードケーブル規格 建込条件</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>ボックスビーム</td> <td>ボックスビーム規格</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>基礎ブロック(立入防止柵)</td> <td>寸法 作業区分</td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>車止めポスト</td> <td>車止めポスト径 車止めポスト長さ</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td>階段工</td> <td>現場打階段</td> <td>コンクリート規格 砕石規格</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table>	コンクリート構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	逆T型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1		コンクリート構造物		L型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1		付属施設		ガードケーブル	ガードケーブル規格 建込条件	m	1		付属施設		ボックスビーム	ボックスビーム規格	m	1		付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	個	1		付属施設		車止めポスト	車止めポスト径 車止めポスト長さ	本	1		付属施設	階段工	現場打階段	コンクリート規格 砕石規格	m2	1		他基準 と整合															
		コンクリート構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	逆T型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																																												
		コンクリート構造物		L型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																																												
		付属施設		ガードケーブル	ガードケーブル規格 建込条件	m	1																																																												
		付属施設		ボックスビーム	ボックスビーム規格	m	1																																																												
		付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	個	1																																																												
		付属施設		車止めポスト	車止めポスト径 車止めポスト長さ	本	1																																																												
		付属施設	階段工	現場打階段	コンクリート規格 砕石規格	m2	1																																																												
		改定																																																																	
		共通-26 共通-27	共通-26	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">コンクリート構造物</td> <td style="width: 20%;">場所打擁壁工(構造物単位)</td> <td style="width: 20%;">逆T型擁壁</td> <td style="width: 20%;">本体コンクリート規格</td> <td style="width: 10%;">m3</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>コンクリート構造物</td> <td></td> <td>もたれ式擁壁</td> <td>本体コンクリート規格</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート構造物</td> <td></td> <td>L型擁壁</td> <td>本体コンクリート規格</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table>	コンクリート構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	逆T型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1		コンクリート構造物		もたれ式擁壁	本体コンクリート規格	m3	1		コンクリート構造物		L型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																											
	コンクリート構造物			場所打擁壁工(構造物単位)	逆T型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																																											
	コンクリート構造物				もたれ式擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																																											
	コンクリート構造物			L型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																																												
	共通-27		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">付属施設</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">ガードケーブル</td> <td style="width: 20%;">ガードケーブル規格 建込条件</td> <td style="width: 10%;">m</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>基礎ブロック(立入防止柵)</td> <td>寸法 作業区分</td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>車止めポスト</td> <td>車止めポスト径 車止めポスト長さ</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td>ワイヤロープ防護柵工</td> <td>端末基礎・端末金具</td> <td>種別 設置形式</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>支柱</td> <td>種別 設置形式 設置箇所</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>ワイヤロープ</td> <td>種別</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>ターンバックル</td> <td>種別 設置箇所</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>橋梁部基礎・支柱</td> <td>種別</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td>階段工</td> <td>現場打階段</td> <td>コンクリート規格 砕石規格</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table>	付属施設		ガードケーブル	ガードケーブル規格 建込条件	m	1		付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	個	1		付属施設		車止めポスト	車止めポスト径 車止めポスト長さ	本	1		付属施設		ワイヤロープ防護柵工	端末基礎・端末金具	種別 設置形式	箇所	1		付属施設		支柱	種別 設置形式 設置箇所	本	1		付属施設		ワイヤロープ	種別	m	1		付属施設		ターンバックル	種別 設置箇所	箇所	1		付属施設		橋梁部基礎・支柱	種別	箇所	1		付属施設	階段工	現場打階段	コンクリート規格 砕石規格	m2	1	
			付属施設		ガードケーブル	ガードケーブル規格 建込条件	m	1																																																											
			付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	個	1																																																											
			付属施設		車止めポスト	車止めポスト径 車止めポスト長さ	本	1																																																											
			付属施設	ワイヤロープ防護柵工	端末基礎・端末金具	種別 設置形式	箇所	1																																																											
			付属施設		支柱	種別 設置形式 設置箇所	本	1																																																											
		付属施設		ワイヤロープ	種別	m	1																																																												
付属施設		ターンバックル	種別 設置箇所	箇所	1																																																														
付属施設		橋梁部基礎・支柱	種別	箇所	1																																																														
付属施設	階段工	現場打階段	コンクリート規格 砕石規格	m2	1																																																														

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現 行	備 考						
共通編 1章 基本事項	共通-27	付属施設	雪崩予防柵アンカー	アンカー規格	本	1			
		付属施設	落石防止網工	ロックネット	網規格(種別) 網規格(寸法) アンカー規格・仕様 支柱規格・仕様	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2	
		付属施設		縦横網	縦横網規格	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2	
		付属施設	遮音壁基礎工	支柱アンカーボルト	アンカー形式 アンカー支柱間隔 アンカー材料規格	本	1		
		付属施設	情報案内施設工	案内板	材質 形状	箇所	1		
		防護柵工	防止柵工	遮光フェンス	種別 支柱間隔 作業条件	m	1		
		河川構造物	土台基礎工	土台		m	1		
		共通-28	河川構造物		コンクリート規格				
			河川構造物	横帯ブロック	ブロック規格 底幅 高さ	m	1		
			河川構造物	小口止	コンクリート規格	m	0.1		
	改 定								
	共通-27	共通-27	付属施設	雪崩予防柵アンカー	アンカー規格	本	1		
			付属施設	遮音壁基礎工	支柱アンカーボルト	アンカー形式 アンカー支柱間隔 アンカー材料規格	本	1	
		共通-28	付属施設	情報案内施設工	案内板	材質 形状	箇所	1	
			河川構造物	土台基礎工	土台		m	1	
			河川構造物	護岸付属物工	横帯(隔壁)コンクリート	高さ 幅 高さ コンクリート規格	m	0.1	
		河川構造物		横帯ブロック	ブロック規格	m	1		

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現 行					備 考		
共通編 1章 基本事項	共通-29	砂防		足場	安全ネットの有無	(m)	(1)	他基準と整合	
		砂防		隔壁コンクリート基礎	コンクリート規格 幅 高さ	m3	1		
		砂防		現場打水路	内幅 内高 コンクリート規格	m	1		
	砂防	仮締切工	中詰・締切盛土撤去		m3	10			
	砂防	砂防ソイルセメント工	砂防ソイルセメント	粒径処理率	m3	1			
	改 定								
	共通-29	砂防		足場	安全ネットの有無	(m)	(1)		
		砂防		チッピング(岩盤面・打雑面)		m2	1		
		砂防		チッピング(季節環境護付け面)		m2	10		ただし100m2未満の場合は1m2
		砂防		岩盤清掃		m2	1		
砂防			隔壁コンクリート基礎	コンクリート規格 幅 高さ	m3	1			
共通-30	砂防		現場打水路	内幅 内高 コンクリート規格	m	1			
	砂防	砂防ソイルセメント工	砂防ソイルセメント	粒径処理率	m3	1			

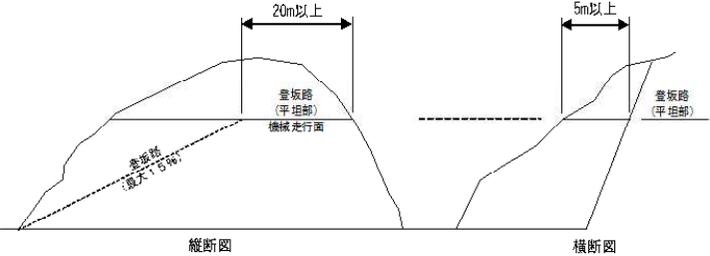
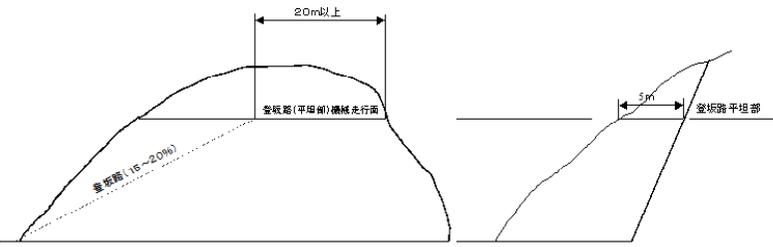
土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現 行						備 考	
共通編 1章 基本事項	共通-36	道路維持		バッチング	材料種類	t	0.1	他基準と整合	
		道路維持	付属物復旧工	ガードレール復旧	作業区分 使用材料	m	1		
		道路維持		ガードケーブル復旧	ガードケーブル規格 材料費の有無 作業条件	m	1		
		道路維持		ガードパイプ復旧	作業区分 使用材料	m	1		
		道路維持		転落(横断)防止柵復旧	防護柵種類	m	1		
		道路維持		路面清掃(中央分離帯・人力)	作業形態 塵芥量	m ²	1		
		道路維持	路肩整正	路肩整正(機械)	作業形態	km	0.1		
		道路維持		路肩整正(人力)	作業形態 運搬距離	m ²	100		
		道路維持	排水施設清掃工	側溝清掃(人力)	作業形態 側溝蓋規格	m	10		
		道路維持			ガードレール清掃車機種				
	道路維持		ガードパイプ清掃	作業形態	m	1			
	道路維持		トンネル照明器具清掃(機械)	作業形態	km	0.1			
	改 定								
	共通-36		道路維持		バッチング	材料種類	t		0.1
		道路維持	付属物復旧工	ガードケーブル復旧	ガードケーブル規格 材料費の有無 作業条件	m	1		
		道路維持		転落(横断)防止柵復旧	防護柵種類	m	1		
		道路維持		路面清掃(中央分離帯・人力)	作業形態 塵芥量	m ²	1		
		道路維持	排水施設清掃工	側溝清掃(人力)	作業形態 側溝蓋規格	m	10		
		道路維持			ガードレール清掃車機種				
		道路維持		トンネル照明器具清掃(機械)	作業形態	km	0.1		

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考
共通編 2章 土工	共通-18	<p>(7) ダンプトラック登坂路の検討 掘削後ダンプトラックにより土砂搬出する場合において、下記の条件を満たすときは登坂路を検討する。</p> <p>① ダンプトラックの登坂路として、幅員5mを確保し、登坂路の勾配は次を目安とすること。 土砂運搬の場合最大1.5%、資材・機材の搬入搬出がある場合最大1.0%程度 勾配は、資材種別、運搬車種などを考慮のうえ適宜設定する。</p> <p>② 積込箇所の作業ヤードとして延長20m以上の平坦部が確保できること。</p>  <p>(8) 登坂路を設ける場合の掘削機械の選定</p> <p>① 掘削機械の機械走行面は、ダンプトラックが走行する登坂路の路面とする。</p> <p>② 掘削機械の走行幅が5m以上ある場合、登坂路面上方5mの高さの範囲、及び登坂路下方5mの高さの範囲の掘削はバックホウのオープンカットを適用する。</p> <p>③ 上記②以外で、登坂路面から上方5mの高さを越え切取幅が5mまでの範囲の掘削は、ブルドーザ or バックホウを適用する。</p>	<p>(7) ダンプトラック登坂路の検討 掘削後ダンプトラックにより土砂搬出する場合において、下記の条件を満たすときは登坂路を検討する。</p> <p>① ダンプトラックの登坂路として縦断勾配1.5～2.0%、幅員5mが確保できること。</p> <p>② 積込箇所の作業ヤードとして延長20m以上の平坦部が確保できること。</p> <p>(8) 登坂路を設ける場合の掘削機械の選定</p> <p>① 掘削機械の機械走行面は、ダンプトラックが走行する登坂路の路面とする。</p> <p>② 掘削機械の走行幅が5m以上ある場合、登坂路面上方5mの高さの範囲、及び登坂路下方5mの高さの範囲の掘削はバックホウのオープンカットを適用する。</p> <p>③ 上記②以外で、登坂路面から上方5mの高さを越え切取幅が5mまでの範囲の掘削は、ブルドーザ or バックホウを適用する。</p> 	記載の 改定

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																																																												
共通編 3章 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	共通-92	2. 雑工種における材料は、種別・規格にかかわらず適用できる。 3. 発泡スチロールブロックの固定のためにL型ピンの設置が必要な場合は別途考慮する。 4. コンクリート床版にグラウンドアンカー等を結合する場合は別途考慮する。 5. ベースプレート式H型鋼支柱(H型鋼規格はH300mm×300mm以下、長さ9m以下)を標準としており、これにより難い場合については別途考慮する。 6. 壁面材1枚当りの規格は、長さ2.5m以下、幅0.6m以下、重量170kg以下を標準としており、これにより難い場合については別途考慮する。 7. 複数段積みの場合、雑工種による区分は、平面的に(上から見て)区分する。 <p>(2) 発泡スチロール設置の雑工種による区分は、以下のとおりとする。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;">雑工種</div> <ul style="list-style-type: none"> — 排水材+基礎碎石+敷砂 — 排水材+基礎碎石 — 排水材+敷砂 — 基礎碎石+敷砂 — 排水材 — 基礎碎石 — 敷砂 — 無し </div>	2. 雑工種における材料は、種別・規格にかかわらず適用できる。 3. 発泡スチロールブロックの固定のためにL型ピンの設置が必要な場合は別途考慮する。 4. コンクリート床版にグラウンドアンカー等を結合する場合は別途考慮する。 5. ベースプレート式H型鋼支柱(H型鋼規格はH300mm×300mm以下、長さ9m以下)を標準としており、これにより難い場合については別途考慮する。 6. 壁面材1枚当りの規格は、長さ2.5m以下、幅0.6m以下、重量170kg以下を標準としており、これにより難い場合については別途考慮する。 (2) 発泡スチロール設置の雑工種による区分は、以下のとおりとする。 雑工種 <ul style="list-style-type: none"> — 排水材+基礎碎石+敷砂 — 排水材+基礎碎石 — 排水材+敷砂 — 基礎碎石+敷砂 — 排水材 — 基礎碎石 — 敷砂 — 無し 	記載の追加																																																												
共通編 6章 擁壁工 6.3 補強盛土工	共通-144	(1) 数量算出項目及び区分一覧表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">区分項目</th> <th style="width: 10%;">規格</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 10%;">数量</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材組立・設置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材(材料費)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル敷設</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まき出し・敷均し、締固め</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル(材料費)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分項目	規格	単位	数量	備考	ジオテキスタイル壁面材組立・設置	○	m ²			ジオテキスタイル壁面材(材料費)	○	m ²			ジオテキスタイル敷設	○	m ²			まき出し・敷均し、締固め	○	m³			ジオテキスタイル(材料費)	○	m ²			(1) 数量算出項目及び区分一覧表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">区分項目</th> <th style="width: 10%;">規格</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 10%;">数量</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材組立・設置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材(材料費)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル敷設</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まき出し・敷均し、締固め</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル(材料費)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分項目	規格	単位	数量	備考	ジオテキスタイル壁面材組立・設置	○	m ²			ジオテキスタイル壁面材(材料費)	○	m ²			ジオテキスタイル敷設	○	m ²			まき出し・敷均し、締固め	○	m²			ジオテキスタイル(材料費)	○	m ²			誤記の訂正
区分項目	規格	単位	数量	備考																																																												
ジオテキスタイル壁面材組立・設置	○	m ²																																																														
ジオテキスタイル壁面材(材料費)	○	m ²																																																														
ジオテキスタイル敷設	○	m ²																																																														
まき出し・敷均し、締固め	○	m³																																																														
ジオテキスタイル(材料費)	○	m ²																																																														
区分項目	規格	単位	数量	備考																																																												
ジオテキスタイル壁面材組立・設置	○	m ²																																																														
ジオテキスタイル壁面材(材料費)	○	m ²																																																														
ジオテキスタイル敷設	○	m ²																																																														
まき出し・敷均し、締固め	○	m²																																																														
ジオテキスタイル(材料費)	○	m ²																																																														

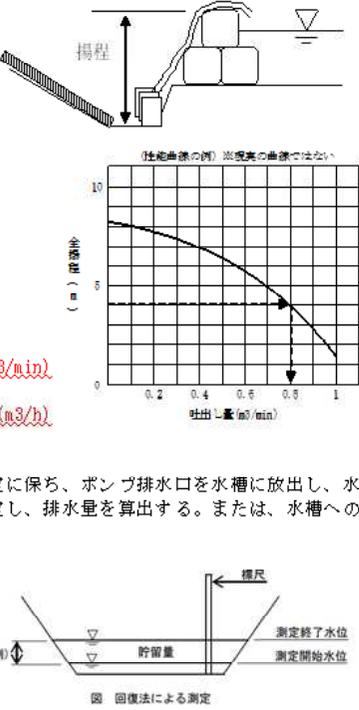
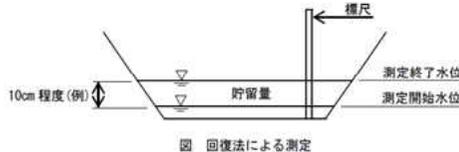
土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																								
共通編 10章 構造物取壊し工 10.2 旧橋撤去工	共通-216	関連数量算出項目 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場・防護・ベント等</td> <td></td> <td></td> <td>「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照</td> </tr> <tr> <td>現場発生品運搬</td> <td>回</td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	項目	単位	数量	備考	足場・防護・ベント等			「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照	現場発生品運搬	回		必要な場合別途計上	関連数量算出項目 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場・防護・ベント等</td> <td></td> <td></td> <td>「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照</td> </tr> <tr> <td>現場発生品運搬</td> <td>回</td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注)現場発生品の運搬をする場合は、質量(t)についても算出する。</p>	項目	単位	数量	備考	足場・防護・ベント等			「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照	現場発生品運搬	回		必要な場合別途計上	他基準と整合
項目	単位	数量	備考																									
足場・防護・ベント等			「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照																									
現場発生品運搬	回		必要な場合別途計上																									
項目	単位	数量	備考																									
足場・防護・ベント等			「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照																									
現場発生品運搬	回		必要な場合別途計上																									
共通編 11章 仮設工 11.1.2 土のう締切工	共通-230	(注) 1. 62×48cmのホリシタ製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は0.02m ³ とする。 2. 大型土のうは、1袋あたり1.1m(幅)×1.1m(高さ)により必要数量を算出する。 3. 大型土のうは、耐候性を標準とし、耐用年数については工程を考慮し適切に選択すること。 4. 転用回数の制限はないが、受注者の責によらない現場条件等により、転用できないと判断できる場合は必要に応じて設計変更すること。	(注) 1. 62×48cmのホリシタ製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は0.02m ³ とする。 2. 大型土のうは、1袋あたり1.1m(幅)×1.1m(高さ)により必要数量を算出する。 3. 大型土のうは、耐候性を標準とし、耐用年数については行程を考慮し適切に選択すること。 4. 転用回数の制限はないが、受注者の責によらない現場条件等により、転用できないと判断できる場合は必要に応じて設計変更すること。	誤記の訂正																								

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考
共通編 11章 仮設工 11.2 締切排水工	共通-236	<p>② 排水量の測定方法は次を参考とすること。</p> <p>(a) ポンプの性能による方法 現場において実際に設置したポンプの台数とポンプのカタログ等に記載の吐出し量から求める。なお、カタログ等の性能曲線における全揚程は、床面下面から、締切の上端までの高さ(揚程)を用いるものとする。 また、実際に設置したポンプと、カタログ等が同一であることを確認できるように、受注者はポンプの設置状況およびポンプの品名等を写真により記録し、工事監督員に提出する。</p> <p>《算出例》実際に設置したポンプが3台、揚程が4m、カタログの性能曲線が右の図の場合</p> <p>全揚程=揚程=4mなので、性能曲線で全揚程4mの場合、吐出し量0.8(m³/min)となる。単位がmin(分)なので、60倍して、$3(台) \times 0.8(m^3/min) \times 60(min/h) = 144(m^3/h)$</p> <p>(b) 水槽による測定 ポンプにより締切内水位を掘削底面付近で一定に保ち、ポンプ排水口を水槽に放出し、水槽の放水口に三角堰等を設置して越流水深を測定し、排水量を算出する。または、水槽への貯留量・貯留時間を測定し排水量を算出する。</p> <p>(c) 回復法 工事排水中に一旦ポンプを停止、掘削底面を水面内に浸して、一様な水面になってから、水位の回復に要する時間を計測し、この間の貯留量を求める。</p> 	<p>② 排水量の主な測定方法は次のとおり。</p> <p>(a) 水槽による測定 ポンプにより締切内水位を掘削底面付近で一定に保ち、ポンプ排水口を水槽に放出し、水槽の放水口に三角堰等を設置して越流水深を測定し、排水量を算出する。または、水槽への貯留量・貯留時間を測定し排水量を算出する。</p> <p>(b) 回復法 工事排水中に一旦ポンプを停止、掘削底面を水面内に浸して、一様な水面になってから、水位の回復に要する時間を計測し、この間の貯留量を求める。</p> 	元の通知文と整合
共通編 11章 仮設工 11.12 敷鉄板設置撤去工	共通-281	<p>1. 適用</p> <p>工事用道路工事等において、軟弱地盤等により工事用車両の通行に支障がある場合の敷鉄板設置・撤去作業に適用する。</p> <p>なお、工事用道路(工事用車両の仮設道路であって、二股車両が通行するものを除く)については、原則、敷鉄板を使用する。ただし、災害復旧工事や、小規模な工事の場合、土地管理者との協議結果等により、敷鉄板の使用が適さない場合は除く。</p>	<p>1. 適用</p> <p>工事用道路工事等において、軟弱地盤等により工事用車両の通行に支障がある場合の敷鉄板設置・撤去作業に適用する。</p>	記載の追記

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																																																		
河川・砂防編 1章 護岸・根固工 1.6 コンクリートブロック積(張)工	河川・砂防 -14	<p>1. 適用</p> <p>コンクリートブロック積工、コンクリートブロック張工及び緑化ブロック積工に適用する。 なお、コンクリートブロック積工は、間知ブロック積及び大型ブロック積を対象とし、コンクリートブロック張工は、平ブロック張及び連節ブロック張を対象とする。</p> <p>2. 数量算出項目</p> <p>間知ブロック積、大型ブロック積、間知ブロック張、平ブロック張、連節ブロック張、緑化ブロック積、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出防止材(全面)設置、植樹、現場打基礎コンクリート、現場打小口止コンクリート、現場打横帯(隔壁)、コンクリート、現場打天端コンクリート、プレキャスト基礎ブロック、プレキャスト小口止ブロック、プレキャスト横帯(隔壁)ブロック、プレキャスト巻止ブロックの数量を区分ごとに算出する。</p> <p>②間知ブロック積(施工パッケージ型積算方式を適用)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>鉄筋規格</th> <th>鉄筋 10m2当り 使用量</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>間知ブロック積</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 間知ブロック積工は勾配1割未満、ブロック質量150kg/個以上730kg/個以下の場合である。 2. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯(隔壁)、天端コンクリートは別途計上する。 3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p> <p>③大型ブロック積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>ブロックの質量</th> <th>水抜きパイプの有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブロック積</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 大型ブロック積工は、勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上の場合である。 2. 設置面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯(隔壁)、天端コンクリートは別途計上する。 3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p>	区分 項目	鉄筋規格	鉄筋 10m2当り 使用量	単位	数量	備考	間知 ブロック積	○	○	m ²			区分	ブロック規格	ブロックの質量	水抜きパイプの有無	単位	数量	備考	大型ブロック積	○	○	○	m ²			<p>1. 適用</p> <p>コンクリートブロック積工、コンクリートブロック張工及び緑化ブロック積工に適用する。</p> <p>2. 数量算出項目</p> <p>コンクリートブロック積、大型ブロック積、間知ブロック張、平ブロック張、連節ブロック張、緑化ブロック積、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出防止材(全面)設置、植樹、現場打基礎コンクリート、天端コンクリート、プレキャスト基礎ブロック、小口止、横帯コンクリート、巻止コンクリートの数量を区分ごとに算出する。</p> <p>②コンクリートブロック積(施工パッケージ型積算方式を適用)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>鉄筋規格</th> <th>鉄筋 10m2当り 使用量</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートブロック積</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. コンクリートブロック積工は勾配1割未満、ブロック質量150kg/個以上450kg/個以下の場合である。 2. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p> <p>③大型ブロック積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>水抜きパイプの有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブロック積</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 大型ブロック積工は、勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上の場合である。 2. 設置面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p>	区分 項目	鉄筋規格	鉄筋 10m2当り 使用量	単位	数量	備考	コンクリートブロック積	○	○	m ²			区分	ブロック規格	水抜きパイプの有無	単位	数量	備考	大型ブロック積	○	○	m ²			他基準と整合
	区分 項目	鉄筋規格	鉄筋 10m2当り 使用量	単位	数量	備考																																																
間知 ブロック積	○	○	m ²																																																			
区分	ブロック規格	ブロックの質量	水抜きパイプの有無	単位	数量	備考																																																
大型ブロック積	○	○	○	m ²																																																		
区分 項目	鉄筋規格	鉄筋 10m2当り 使用量	単位	数量	備考																																																	
コンクリートブロック積	○	○	m ²																																																			
区分	ブロック規格	水抜きパイプの有無	単位	数量	備考																																																	
大型ブロック積	○	○	m ²																																																			
	河川・砂防 -15																																																					

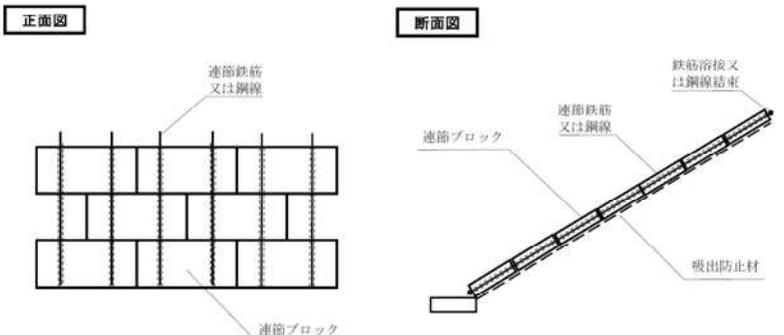
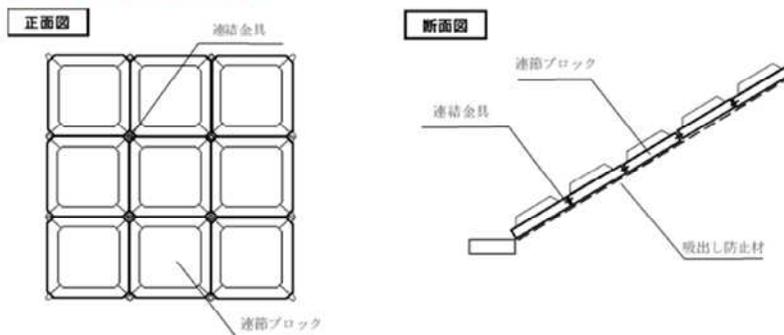
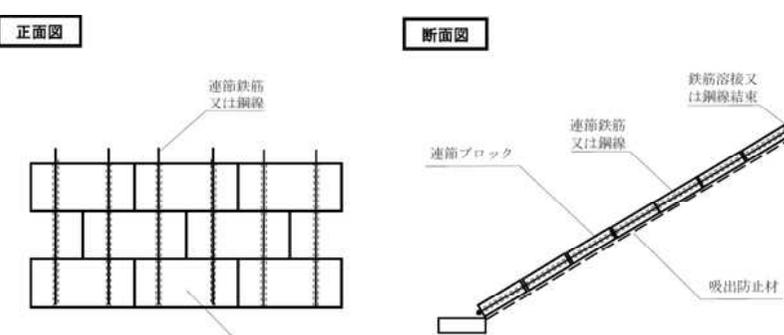
土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																																																																																																				
河川・砂防編 1章 護岸・根固工 1.6 コンクリートブロック積(張)工	河川・砂防 -15	<p>⑥連節ブロック張</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>ブロックの質量</th> <th>連結方法</th> <th>連節鉄筋(鋼線)規格</th> <th>遮水シートの有無</th> <th>吸出し防止材の有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連節ブロック張</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 連節ブロック張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)の場合である。 2. 連節ブロック張と遮水シート張は、同施工面積とする。 3. 設計面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、<u>横帯(隔壁)</u>、天端コンクリートは別途計上する。 4. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分し、河川護岸においてはさらに低水・高水護岸に区分して算出する。</p>	区分	ブロックの質量	連結方法	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	単位	数量	備考	連節ブロック張	○	○	○	○	○	m ²			<p>⑥連節ブロック張</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>作業区分</th> <th>ブロックの質量</th> <th>連節鉄筋(鋼線)規格</th> <th>遮水シートの有無</th> <th>吸出し防止材の有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連節ブロック張</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 連節ブロック張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)の場合である。 2. 連節ブロック張と遮水シート張は、同施工面積とする。 3. 設計面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 4. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分し、河川護岸においてはさらに低水・高水護岸に区分して算出する。</p>	区分	作業区分	ブロックの質量	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	単位	数量	備考	連節ブロック張	○	○	○	○	○	m ²			他基準と整合																																																																
	区分	ブロックの質量	連結方法	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	単位	数量	備考																																																																																															
	連節ブロック張	○	○	○	○	○	m ²																																																																																																	
区分	作業区分	ブロックの質量	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	単位	数量	備考																																																																																																
連節ブロック張	○	○	○	○	○	m ²																																																																																																		
河川・砂防 -16	<p>⑧胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出し防止材(全面)設置、植樹</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>ブロックの種類</th> <th>ブロックの質量</th> <th>胴込裏込規格</th> <th>遮水シート規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胴込・裏込コンクリート</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴込・裏込材(砕石)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮水シート張</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸出し防止材(全面)設置</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>植樹</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p>	区分	生コンクリート規格	ブロックの種類	ブロックの質量	胴込裏込規格	遮水シート規格	単位	数量	備考	胴込・裏込コンクリート	○	○	○	×	×	m ³			胴込・裏込材(砕石)	×	○	×	○	×	m ³			遮水シート張	×	×	×	×	○	m ²			吸出し防止材(全面)設置	×	×	×	×	×	m ²			植樹	×	×	×	×	×	本			<p>⑧胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出し防止材(全面)設置、植樹</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>ブロックの種類</th> <th>胴込裏込規</th> <th>遮水シート規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胴込・裏込コンクリート</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴込・裏込材(砕石)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮水シート張</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸出し防止材(全面)設置</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>植樹</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p>	区分	生コンクリート規格	ブロックの種類	胴込裏込規	遮水シート規格	単位	数量	備考	胴込・裏込コンクリート	○	○	×	×	m ³			胴込・裏込材(砕石)	×	○	○	×	m ³			遮水シート張	×	×	×	○	m ²			吸出し防止材(全面)設置	×	×	×	×	m ²			植樹	×	×	×	×	本		
区分	生コンクリート規格	ブロックの種類	ブロックの質量	胴込裏込規格	遮水シート規格	単位	数量	備考																																																																																																
胴込・裏込コンクリート	○	○	○	×	×	m ³																																																																																																		
胴込・裏込材(砕石)	×	○	×	○	×	m ³																																																																																																		
遮水シート張	×	×	×	×	○	m ²																																																																																																		
吸出し防止材(全面)設置	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																		
植樹	×	×	×	×	×	本																																																																																																		
区分	生コンクリート規格	ブロックの種類	胴込裏込規	遮水シート規格	単位	数量	備考																																																																																																	
胴込・裏込コンクリート	○	○	×	×	m ³																																																																																																			
胴込・裏込材(砕石)	×	○	○	×	m ³																																																																																																			
遮水シート張	×	×	×	○	m ²																																																																																																			
吸出し防止材(全面)設置	×	×	×	×	m ²																																																																																																			
植樹	×	×	×	×	本																																																																																																			
河川・砂防 -17	<p>⑩現場打小口止コンクリート、プレキャスト小口止ブロック、現場打横帯(隔壁)コンクリート、プレキャスト横帯(隔壁)ブロック、プレキャスト巻止ブロック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>構造</th> <th>養生工の種類</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場打小口止コンクリート</td> <td rowspan="10">○</td> <td rowspan="10">×</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック(材料費)</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場打横帯(隔壁)コンクリート</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯(隔壁)ブロック</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック(材料費)</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎材</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 必要に応じて数量を各項目ごとに算出する。 2. 現場打小口止コンクリート及び現場打横帯(隔壁)コンクリートについては、体積(m³)も算出すること。</p>	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考	現場打小口止コンクリート	○	×	○	m			プレキャスト小口止ブロック	×	取			プレキャスト小口止ブロック(材料費)	×	取			現場打横帯(隔壁)コンクリート	○	m			プレキャスト横帯(隔壁)ブロック	×	取			プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)	×	取			プレキャスト巻止ブロック	×	m			プレキャスト巻止ブロック(材料費)	×	取			裏込材	×	m ²			目地材	×	m ²			基礎材	×	m ²			<p>⑩小口止、横帯コンクリート、巻止コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>構造</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小口止</td> <td rowspan="7">○</td> <td rowspan="7">×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>横帯コンクリート</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>巻止コンクリート</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎材</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 必要に応じて数量を各項目ごとに算出する。 2. 小口止、横帯コンクリート及び巻止コンクリートについては、体積(m³)も算出すること。</p>	区分	規格	構造	単位	数量	備考	小口止	○	×	m			横帯コンクリート	m			巻止コンクリート	m			型枠	m ²			裏込材	m ²			目地材	m ²			基礎材	m ²				
区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考																																																																																																		
現場打小口止コンクリート	○	×	○	m																																																																																																				
プレキャスト小口止ブロック			×	取																																																																																																				
プレキャスト小口止ブロック(材料費)			×	取																																																																																																				
現場打横帯(隔壁)コンクリート			○	m																																																																																																				
プレキャスト横帯(隔壁)ブロック			×	取																																																																																																				
プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)			×	取																																																																																																				
プレキャスト巻止ブロック			×	m																																																																																																				
プレキャスト巻止ブロック(材料費)			×	取																																																																																																				
裏込材			×	m ²																																																																																																				
目地材			×	m ²																																																																																																				
基礎材	×	m ²																																																																																																						
区分	規格	構造	単位	数量	備考																																																																																																			
小口止	○	×	m																																																																																																					
横帯コンクリート			m																																																																																																					
巻止コンクリート			m																																																																																																					
型枠			m ²																																																																																																					
裏込材			m ²																																																																																																					
目地材			m ²																																																																																																					
基礎材			m ²																																																																																																					

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考
河川・砂防編 1章 護岸・根固工 1.6 コンクリートブロック積(張)工	河川・砂防-17 河川・砂防-20	<p>(2) 規格区分 コンクリートブロック積、コンクリートブロック張及び緑化ブロック積、<u>プレキャスト小口止ブロック</u>、<u>プレキャスト横帯(隔壁)ブロック</u>、<u>プレキャスト巻止ブロック</u>は、ブロックの種類、質量、形状及び大きさごとに区分して算出する。 <u>現場打小口止コンクリート</u>、<u>現場打横帯(隔壁)コンクリート</u>及び<u>現場打天端</u>コンクリートは、形状及び寸法ごとに区分して算出する。</p> <p>⑤ 連節ブロック張 (<u>鉄筋又は鋼線</u>)</p>  <p>⑥ 連節ブロック張 (連結金具)</p>  <p>(注) <u>各ブロック積(張)工の参考図は、一般的な形状を示すものであり、そのブロックの形状を指定するものではない。</u></p>	<p>(2) 規格区分 コンクリートブロック積、コンクリートブロック張及び緑化ブロック積は、ブロックの種類、質量、形状及び大きさごとに区分して算出する。 小口止、横帯コンクリート及び巻止コンクリートは、形状及び寸法ごとに区分して算出する。</p> <p>⑤ 連節ブロック張</p> 	他基準と整合

土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																																
資料編 3章 3.3 副産物の 参考重量 について	資料-28	1. 適用 この資料は、仮設として用いる土のう袋及び大型土のう袋の参考重量として示すものである。 実際の重量は、使用状況等により変動するため、当初設計においては下記重量×枚数により算出した数量を概数として計上し、マニフェスト等により実数量を確認したうえで、概数の確定による変更を行うこととする。 <table border="1" data-bbox="416 507 1122 815"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>参考重量(1枚当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土のう袋</td> <td>48cm×62cm</td> <td>kg</td> <td>0.048</td> </tr> <tr> <td>大型土のう袋</td> <td>φ110×108cm (1t用)</td> <td>kg</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>耐候性大型土のう袋</td> <td>φ110×110cm 短期仮設対応(1年) (2t用)</td> <td>kg</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>耐候性大型土のう袋</td> <td>φ110×110cm 長期仮設対応(3年) (2t用)</td> <td>kg</td> <td>2.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 規格が合致しない場合等、上表によりがたい場合は別途考慮する。</p>	名称	規格	単位	参考重量(1枚当り)	土のう袋	48cm×62cm	kg	0.048	大型土のう袋	φ110×108cm (1t用)	kg	2.0	耐候性大型土のう袋	φ110×110cm 短期仮設対応(1年) (2t用)	kg	2.4	耐候性大型土のう袋	φ110×110cm 長期仮設対応(3年) (2t用)	kg	2.6	1. 適用 この資料は、仮設として用いる土のう袋及び大型土のう袋の参考重量として示すものである。 実際の重量は、使用状況等により変動するため、当初設計においては下記重量×枚数により算出した数量を概数として計上し、マニフェスト等により実数量を確認したうえで、概数の確定による変更を行うこととする。 <table border="1" data-bbox="1256 507 1962 643"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>参考重量(1枚当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土のう袋</td> <td>48cm×62cm</td> <td>kg</td> <td>0.048</td> </tr> <tr> <td>大型土のう袋</td> <td>径110cm×108cm</td> <td>kg</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 規格が合致しない場合等、上表によりがたい場合は別途考慮する。 (注2) 耐候性大型土のう袋は、上表を適用しない。</p>	名称	規格	単位	参考重量(1枚当り)	土のう袋	48cm×62cm	kg	0.048	大型土のう袋	径110cm×108cm	kg	2.0	記載の追加
名称	規格	単位	参考重量(1枚当り)																																	
土のう袋	48cm×62cm	kg	0.048																																	
大型土のう袋	φ110×108cm (1t用)	kg	2.0																																	
耐候性大型土のう袋	φ110×110cm 短期仮設対応(1年) (2t用)	kg	2.4																																	
耐候性大型土のう袋	φ110×110cm 長期仮設対応(3年) (2t用)	kg	2.6																																	
名称	規格	単位	参考重量(1枚当り)																																	
土のう袋	48cm×62cm	kg	0.048																																	
大型土のう袋	径110cm×108cm	kg	2.0																																	